



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月28日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 両毛システムズ

コード番号 9691 URL <http://www.ryomo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋山 力

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括部長 (氏名) 上山 和則 (TEL) 0277 - 53 - 3131

四半期報告書提出予定日 平成27年8月5日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,519	20.4	△89	—	△75	—	△57	—
27年3月期第1四半期	2,092	1.2	△114	—	△99	—	△69	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △54百万円(—%) 27年3月期第1四半期 △59百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△16.41	—
27年3月期第1四半期	△19.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	11,016	6,829	62.0
27年3月期	11,148	6,936	62.2

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 6,829百万円 27年3月期 6,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,522	4.4	120	3.9	132	△2.9	79	△0.5	22.58
通期	12,500	9.3	550	6.7	574	4.9	363	29.2	103.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期1Q	3,510,000株	27年3月期	3,510,000株
28年3月期1Q	11,035株	27年3月期	11,035株
28年3月期1Q	3,498,965株	27年3月期1Q	3,498,965株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替は対ドル、対ユーロ等主要基軸通貨に対して円安傾向で推移しており、また設備投資も持ち直しの動きが見られることから、景気は緩やかな回復基調が続き、企業収益は総じて改善傾向にあると見受けられますが、主に欧州の金融システム不安に端を発した経済情勢の不透明化など、景気を下押しする懸念も生じております。

情報サービス産業におきましては、企業収益の改善傾向によるソフトウェア投資予算の増加や、税・社会保障番号制度（マイナンバー制度）の開始によるシステム対応等、ソフトウェア投資需要は堅調に推移しております。

このような状況の中、当社及び連結子会社（以下、当社グループ）では、公共分野及び民間分野とも引き続き受注拡大ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は2,519百万円（前年同期比20.4%増）、営業利益は△89百万円（前年同期は△114百万円）、経常利益は△75百万円（前年同期は△99百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は△57百万円（前年同期は△69百万円）となりました。

また、平成27年5月7日に開示しました決算短信において記載した「会社の対処すべき課題」は、

- ① 研究機能の充実
- ② セキュリティソリューションサービスの充実
- ③ 製品・サービスの品質向上
- ④ 標準化の推進による生産性向上
- ⑤ グローバル展開するミツバグループの成長支援
- ⑥ 人材育成

の6項目を掲げましたが、いずれも体制を整備、課題を明確化し、推進しております。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(公共事業セグメント)

公共事業セグメントでは、自治体向け「G. B e _ _ U（ジービーユー）」（次世代電子行政システム）パッケージシステムを新規にご契約いただいたお客様が稼動いたしました。また、収益構造の改善が進み利益も堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は1,277百万円（前年同期比41.7%増）、セグメント利益は61百万円（前年同期は△48百万円）となりました。

(社会・産業事業セグメント)

社会・産業事業セグメントでは、当社の主力である各事業向けパッケージシステム、ガス事業者向け「G I O S（ジーオス）」、印刷業向け「P r i n T a c t（プリンタクト）」、調剤薬局支援システム「a n y s q u a r e p o l a r i s（エニースクエア ポラリス）」等が総じて堅調に推移いたしました。また、組込ソフトウェア開発におけるコンサルティングサービスも堅調に推移いたしました。電力規制緩和に向けた商談も堅調に推移しております。

その結果、売上高は1,241百万円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益は138百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態に関する分析

(資産・負債・純資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は11,016百万円(前連結会計年度末11,148百万円)となり、132百万円減少しました。流動資産は7,004百万円となり68百万円減少し、固定資産は4,012百万円となり63百万円減少しました。

流動資産では、現金及び預金が722百万円、たな卸資産が146百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が990百万円減少したことが主な要因です。固定資産では、無形固定資産のソフトウェアが51百万円減少したことが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は4,187百万円(前連結会計年度末4,212百万円)となり、25百万円減少しました。流動負債は2,816百万円となり3百万円減少し、固定負債は1,370百万円となり21百万円減少しました。

流動負債では、賞与引当金が275百万円増加したものの、短期借入金が132百万円、買掛金が126百万円、未払法人税等が18百万円それぞれ減少したことが主な要因です。固定負債では、長期借入金が30百万円減少したことが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は6,829百万円(前連結会計年度末6,936百万円)となり、106百万円減少しました。これは利益剰余金が減少したことが主な要因です。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ723百万円増加し2,230百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、983百万円(前年同期は522百万円)となりました。これは主に売上債権の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、15百万円(前年同期は9百万円)となりました。これは主に無形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、244百万円(前年同期は221百万円)となりました。これは主に借入金の返済及び配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月7日に開示した内容に、現時点で修正はありません。

なお、上記連結業績予想は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいておりますが、予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における内外状況の変化により、実際の業績数値が予想の数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,017,973	1,740,657
受取手形及び売掛金	2,218,857	1,228,382
リース投資資産	1,524,695	1,531,660
有価証券	100,000	100,000
たな卸資産	857,050	1,003,072
その他	1,354,518	1,400,454
貸倒引当金	△244	△174
流動資産合計	7,072,850	7,004,052
固定資産		
有形固定資産	1,042,184	1,015,982
無形固定資産		
ソフトウェア	440,483	389,260
ソフトウェア仮勘定	36,427	12,717
その他	305,484	301,790
無形固定資産合計	782,394	703,768
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,469,174	1,499,897
その他	781,659	792,553
貸倒引当金	△3	△4
投資その他の資産合計	2,250,830	2,292,447
固定資産合計	4,075,409	4,012,198
資産合計	11,148,259	11,016,251
負債の部		
流動負債		
買掛金	534,360	408,236
短期借入金	292,600	160,200
未払法人税等	28,522	10,136
賞与引当金	409,134	684,997
受注損失引当金	73,904	65,312
その他	1,482,193	1,487,933
流動負債合計	2,820,716	2,816,817
固定負債		
長期借入金	50,000	20,000
リース債務	1,327,553	1,336,267
その他	13,940	13,952
固定負債合計	1,391,493	1,370,219
負債合計	4,212,210	4,187,037

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,966,900	1,966,900
資本剰余金	2,453,650	2,453,650
利益剰余金	1,999,228	1,889,319
自己株式	△8,513	△8,513
株主資本合計	6,411,264	6,301,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,892	102,476
退職給付に係る調整累計額	431,892	425,381
その他の包括利益累計額合計	524,784	527,857
純資産合計	6,936,049	6,829,213
負債純資産合計	11,148,259	11,016,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,092,198	2,519,282
売上原価	1,843,815	2,155,139
売上総利益	248,383	364,142
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	168,953	184,826
賞与引当金繰入額	42,695	62,806
その他	150,780	205,889
販売費及び一般管理費合計	362,429	453,522
営業損失(△)	△114,045	△89,379
営業外収益		
受取利息	2,645	2,110
受取配当金	4,206	5,980
受取賃貸料	2,306	1,713
転リース差益	5,412	4,908
その他	3,376	1,992
営業外収益合計	17,945	16,705
営業外費用		
支払利息	2,707	2,549
賃貸収入原価	714	279
その他	161	357
営業外費用合計	3,583	3,186
経常損失(△)	△99,682	△75,860
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	9	0
特別損失合計	9	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△99,692	△75,860
法人税等	△30,389	△18,435
四半期純損失(△)	△69,302	△57,424
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△69,302	△57,424

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△69,302	△57,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,985	9,584
退職給付に係る調整額	△3,756	△6,510
その他の包括利益合計	10,228	3,073
四半期包括利益	△59,073	△54,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59,073	△54,351
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△99,692	△75,860
減価償却費	41,389	40,945
無形固定資産償却費	103,061	96,507
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△23,209	△40,306
賞与引当金の増減額(△は減少)	200,702	275,863
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△1,193	△8,591
貸倒引当金の増減額(△は減少)	132	△69
受取利息及び受取配当金	△6,851	△8,091
支払利息	2,707	2,549
為替差損益(△は益)	△24	112
固定資産売却損益(△は益)	△0	-
固定資産除却損	9	0
売上債権の増減額(△は増加)	657,556	919,928
たな卸資産の増減額(△は増加)	△369,651	△146,022
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△113,184	48,283
仕入債務の増減額(△は減少)	△52,691	△192,521
未払費用の増減額(△は減少)	31,884	43,786
その他の流動負債の増減額(△は減少)	74,443	39,483
その他の固定負債の増減額(△は減少)	92,925	858
小計	538,314	996,855
利息及び配当金の受取額	6,842	8,079
利息の支払額	△2,602	△2,415
法人税等の支払額	△20,195	△19,213
営業活動によるキャッシュ・フロー	522,358	983,305
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△30	△29
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△1,462	△17
有形固定資産の取得による支出	△1,262	△6,921
無形固定資産の取得による支出	△6,491	△8,698
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,246	△15,667
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△92,000	△92,000
長期借入金の返済による支出	△70,400	△70,400
リース債務の返済による支出	△25,351	△31,318
配当金の支払額	△33,656	△50,915
財務活動によるキャッシュ・フロー	△221,408	△244,634
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	291,703	723,003
現金及び現金同等物の期首残高	1,870,051	1,507,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,161,754	2,230,994

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	901,405	1,190,793	2,092,198	—	2,092,198
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	901,405	1,190,793	2,092,198	—	2,092,198
セグメント利益又は損失(△)	△48,878	132,022	83,144	△197,189	△114,045

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△197,189千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△29,333千円及び全社費用△167,855千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,277,379	1,241,902	2,519,282	—	2,519,282
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,277,379	1,241,902	2,519,282	—	2,519,282
セグメント利益	61,902	138,102	200,005	△289,384	△89,379

(注) 1. セグメント利益の調整額△289,384千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△42,790千円及び全社費用△246,594千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。